

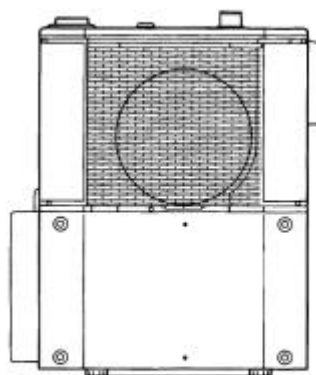
ガスヒーポン
ハウジングマルチ
Living Mate

取扱説明書

3馬力マルチ

このたびは、大阪ガスのガスヒーポンハウジングマルチをお買い上げいただきましてありがとうございます。
安全にご使用いただくために、機器を使用する前によく読み、十分に理解したうえで使用してください。

- この取扱説明書は、いつでも利用できる場所に大切に保管してください。
- 別添の保証書は、記載してあるお買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。
- 本書を紛失された場合や、ご不明の点があればお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスにお問い合わせください。
- この機器は、国内専用ですので海外では使用しないでください。



室外ユニット

145-1002型

(型式名 SGH-CHD80D1N/80D1P)

室内ユニット

(壁掛形) 145-5030/5031/5032/5033/5034/
5035/5036/5037/5038/5039型

(天井カセット形) 145-5120/5121/5122/5123型

(壁埋込形) 145-5220/5221/5222型

(隠ぺい形) 145-5320/5321/5322型



このエアコンは地球のオゾン層を破壊しない
新冷媒R410Aを採用しています。

大阪ガス

マルチタイプエアコンの特徴

このエアコンは1台の室外ユニットに、複数台の室内ユニットを組み合わせて運転できるマルチタイプエアコンです。通常のエアコンと次の点が異なりますのでご注意ください。

●運転台数により多少能力が変わり、吹き出し温度が変化する場合があります。

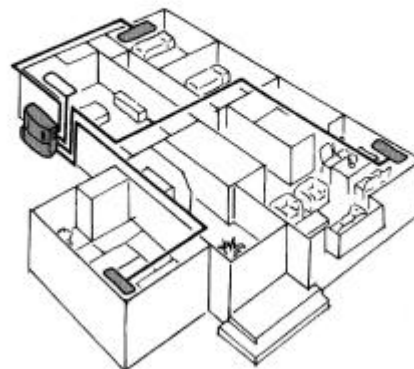
●室外ユニットは、接続されたすべての室内ユニットが停止した場合、全室サーモOFFの場合に停止します。

●室外ユニットは圧縮機保護のため、いったん圧縮機が停止すると約3分間は再起動を防止する仕組みになっています。(→41ページ)

●冷房・ドライ運転を開始するとき、同一室外ユニットに接続された他の室内ユニットがすでに暖房運転をしている場合は、冷房・ドライ運転はできません。
また、暖房運転を開始するときにも、同一室外ユニットに接続された他の室内ユニットがすでに冷房・ドライ運転をしている場合は、暖房運転はできません。(→42ページ)

●室内ユニットから冷媒が漏れる音がする場合もありますが異常ではありません。(→41ページ)

●同時運転可能台数および容量を越えた場合、リモコンにて運転を行っても冷房されない場合があります。
お急ぎの場合は、他室の室内ユニットを停止してください。(→42ページ)



もくじ

マルチタイプエアコンの特徴	1
取扱説明書に記載する記号について	3
1. ご使用の前に	4
1) 安全上のご注意	5
ご使用になる前に必ずお読みください	
2. 上手なご使用のしかた	12
1) リモコン各部のなまえ	13
2) リモコンの取り扱い	15
・運転を始める前に	15
3) 自動運転	17
4) 暖房・ドライ・冷房運転	18
5) 風量・風向調節	19
6) タイマー運転	21
7) ハイパワー運転・1Hタイマー運転・快眠運転	22
3. 取り扱い上のご注意	24
1) 日常のお手入れ	25
2) 上手な使いかた	32
3) 空気清浄フィルターの交換・取付	33
4) 応急運転	39
5) 故障の原因になる取り扱い	40
6) 故障かな?と困ったときは	41
7) こんなときはご連絡ください	42
8) アフターサービスと保証	43
9) メンテナンス	44
10) 工事/移設	46
4. 製品編	48
1) 室内ユニット	49
2) 室外ユニット	53
5. 仕様	54
1) 室内ユニット仕様表	55
2) 室外ユニット仕様表	56

取扱説明書に記載する記号について

お客様がエアコンを安全にお使いいただくために取扱説明書の説明文には、以下の記号が使われています。よく読んで内容をお確かめの上、エアコンをお使いください。

危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡や重傷に至る危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡や重傷に至る可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害や物的損害に至る可能性が想定される内容を示しています。



⊙ はしてはいけないことを示しています。中に具体的な禁止事項(左図は「分解禁止」)を明示する場合もあります。



● は必ずしていただきたいことを示しています。中に具体的な指示内容(左図は「必ずアース線を接続せよ」)を明示しています。具体的に内容を示さない場合は①を用いています。

注意

部品や商品に損傷を与えないための必要な事項を示してあります。

要点

正しい操作のポイントを示してあります。

1. ご使用の前に

1) 安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・5

1) 安全上のご注意

お使用になる前に必ずお読みください

⚠ 危険



室外ユニットは室内に設置しないでください。

室外ユニットは屋外用ですので絶対に室内に設置しないでください。
一酸化炭素中毒の原因になります。

⚠ 警告

ご使用の燃料ガスは指定のガスを使用してください。

- 指定のガス種は室外ユニットのラベルに記載されています。ガス種が異なる
と燃料不良による一酸化炭素中毒の原
因になります。



小部屋へ搬入付ける場合は、万一
冷媒が漏れても限界温度を超えな
い対策が必要です。限界温度を超
えない対策については販売店とご
相談のうえ、搬入付けてください。

- 万一、冷媒が漏れて限界温度を超え
ると、融雪事故の原因になります。

地震・火災など緊急の場合は運転を
停止し、ガス栓を閉じてください。

- あわてずに運転を停止し、ガス栓を閉じてください。
そのままにしておくと火災などの原因になります。

電源はエアコン専用の電気回路を
用いてください。

- 万一電源が切れたとき、ブレーカ落ち
の2次被害の原因となります。



室外ユニットの排気ドレンホース
と室内ユニットのドレンホースを
同じ所へ接続しないでください。

- 接続されて排気ガスが建物内へ逆流す
ると、中毒などの原因になります。



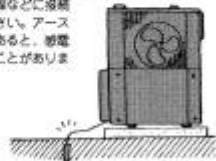
室内ユニットのドレン配管は、排水
ます・雨どい等へ直結しないでくだ
さい。必ず間接排水してください。

- 直接接続されると、有毒ガス等が室内に
流入して中毒などの原因になります。

⚠ 注意

室外ユニットにアースを取り付けてください。

- ・アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線などに接続しないでください。アース工事に不備があると、感電の原因になることがあります。



設置場所によって漏電ブレーカが必要です。ご確認ください。

- ・漏電ブレーカが取り付けられていないと感電の原因になることがあります。



可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れの恐れのある場所や揮発性引火物を取り扱う場所に設置しないでください。

- ・万一ガスが漏れて室外ユニットの周辺にたまり、漏火の原因になることがあります。



室内ユニットの吹出口の前に格子を取り付けしないでください。

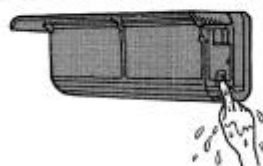
- ・漏風調整が正しく行われず火災の原因になることがあります。



室内ユニットは壁や棚などからじゅうぶんに離して設置してください。

濡れた手でスイッチを操作しないでください。

- ・感電の原因になることがあります。

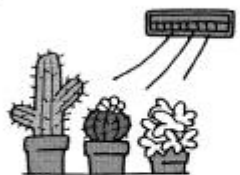


ドレン配管は、確実に排水するように施工する必要があります。ご確認ください。

- ・配管工事に不備があると、水漏れし、家財等を濡らす原因になることがあります。

食品、精密機器、美術品などの保存や動植物の飼育、培養など特別な用途に使用しないでください。

- ・品質低下などの原因になることがあります。



室内ユニットの下にテレビ等の電化製品を置かないでください。

- ・水滴が落下することがあり機器の故障・感電の原因になることがあります。

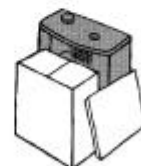
1) 安全上のご注意

運転するときは

⚠ 警告

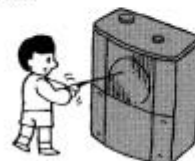
室外ユニットのエンジンの吸気口、排気ガス出口やドレン口をふさがしないでください。

- ・ふさがれていると不完全燃焼による一酸化炭素中毒の原因になります。



室外ユニットの吹出口や吸込口に指や棒などの異物を入れないでください。

- ・ファンなどの回転部に触れると、ファンや棒などが損傷し、ケガや故障の原因になります。



長時間冷風や温風を直接身体に当てたり、冷やしすぎや暖めすぎが無いようにしてください。

- ・体調悪化、健康被害の原因になります。



室外ユニットの排気ガスが室内に入らないようにしてください。

- ・排気ガスが窓や空気吸込口などから入ると中毒などの原因になります。



⚠ 注意

熱交換器のフィンにゴミやホコリが付着しますと、能力が低下し、故障の原因になりますのでお買い求めの販売店にご相談のうえ、熱交換器のゴミの除去や洗浄などを行ってください。



1) 安全上のご注意

⚠ 注意

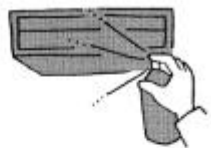
運転中に室内ユニットの吹出口の中に指や棒などの異物を入れないでください。

- スイングルーバーに指をはさむなど怪我をしたり、故障の原因になることがあります。



可燃性スプレー等をエアコンの近くに置いたり、エアコンに直接吹きかけないでください。

- 発火の原因になることがあります。



室外ユニットのパネルやファンガードをはずさないでください。

- 機器の故障、高圧部、高電圧部に触れると巻き込まれたり、やけどや感電によりケガの原因になります。



エアコンの風が直接あたるところに燃焼器具を置かないでください。

- 燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。



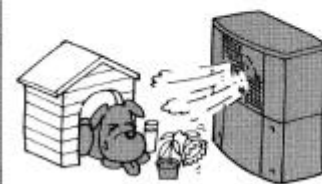
室外ユニットの排気ガス出口に触れないでください。

- 排気ガス出口は運転停止後でも熱くなっています。触れるとやけどをすることがあります。



ファンの吹出し風や排気ガスを直接動物に当てないでください。

- 動物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。



⚠ 注意

機器の上に乗ったり、置かけたりしないでください。

- 機器の故障や、やけどのおそれがあります。



ガス配管に乗らないでください。

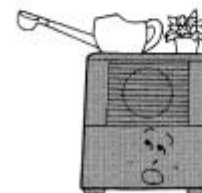
- ガス配管が破損して、火災等の原因になることがあります。

エアコンは直接水洗いしないでください。

- 故障・感電・火災の原因になることがあります。

機器の上に花瓶、植木鉢などを載せないでください。

- 機器の上に水の入った容器を置けたりすると、機器内部に漏水して電気絶縁が劣化し、故障・感電の原因になることがあります。



積雪注意。排気口をふさがないようにしてください。

- 排気口への積雪や、屋根から落ちた雪によって排気口がふさがれ、機器が不完全燃焼をすることがあります。

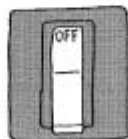
- 積雪時には排気口の点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が排気口をふさぐおそれのある場合は、お買い求めの販売店などに連絡し、設置場所を変更する必要があります。

このようなときはお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご相談ください。

警告

室外ユニットの音や振動がいつもと異なり、常に大きな時や異常な臭い（焦げ臭いなど）がある時は運転を停止して電源ブレーカを切り、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご相談ください。

- 異常のまま運転を続けると故障や、感電、火災等の原因になります。



室外ユニットの燃料ガスが漏れているときはエアコンを止めガスの元栓を閉じて、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

- そのままにしておくとは火災等の原因になります。



冷媒ガスが吹き出していたり、漏れている場合はエアコンを止めて部屋の換気を充分に行い、ガスコンロなどの火気の使用を中止し、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

- そのままにしておくとは火災等の原因になります。
- 冷媒ガスが炎や火花に触れると有毒なガスが発生します。

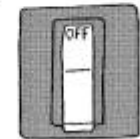


- ガス配管接続工事には専門の資格、技術が必要です。機器の設置、移動、取外しの際には、必ずお買上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

注意

電源ブレーカがたびたび動作するときはお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

- そのまま使用し続けると火災や故障の原因になることがあります。



室内ユニット表示ランプにエラー表示が出て運転しなかったり、不具合が発生した場合は運転を中止し、ガスの元栓を閉じてお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

- そのままにしておくとは火災や故障の原因になることがあります。

1) 安全上のご注意

お願い

●家庭用製品として扱ってください。

- この製品は家庭用です。業務用のような使用をすると機器の寿命が著しく短くなります。

●雪が降り出したら、運転を停止してください。

- 雪が発生しはじめたら、すみやかに運転を停止し、手元電源スイッチを切ってください。雪による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがあります。

●停電したら、ガス栓を閉じてください。

- 使用中万一停電した場合は、機器の安全装置がはたきますが、念のためガス栓を閉じてください。

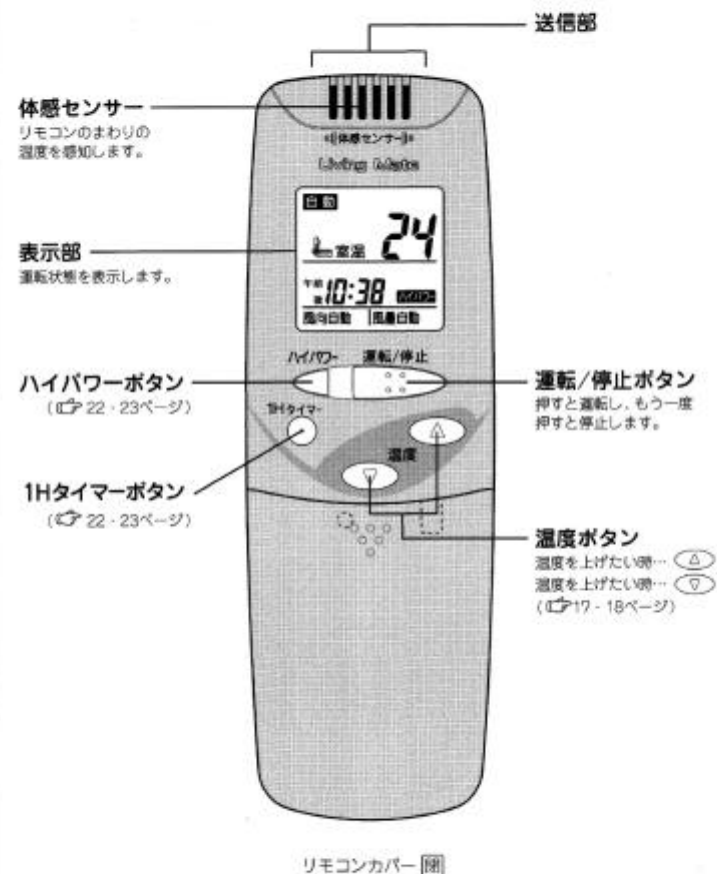


2. 上手なご使用のしかた

- 1) リモコン各部のなまえ・・・・・・・・・・・・・13
- 2) リモコンの取り扱いかた・・・・・・・・・・・・・15
 - 運転を始める前に・・・・・・・・・・・・・15
- 3) 自動運転・・・・・・・・・・・・・17
- 4) 暖房・ドライ・冷房運転・・・・・・・・・・・・・18
- 5) 風量・風向調節・・・・・・・・・・・・・19
- 6) タイマー運転・・・・・・・・・・・・・21
- 7) ハイパワー運転・1Hタイマー運転・快眠運転・・・・・・・・・・22

1) リモコン各部のなまえ

リモコン



2) リモコンの取扱い方

運転を始める前に

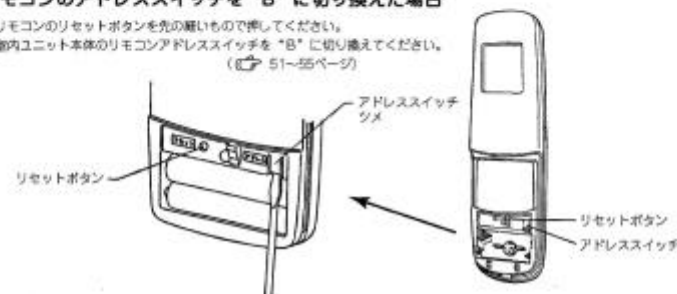
アドレススイッチについて

- アドレス切替は2台の室内ユニットを隣接設置するとき、リモコンの選定を防止するために切り換えます。
通常は“A”にセットされています。
アドレス切替を行う場合は、アドレススイッチのツメを精密ドライバー（←）等で折り、アドレス“B”に切り換えてください。（図参照）

注意事項

リモコンのアドレススイッチを“B”に切り換えた場合

- ①リモコンのリセットボタンを先の細いもので押してください。
- ②室内ユニット本体のリモコンアドレススイッチを“B”に切り換えてください。（図 51～55ページ）



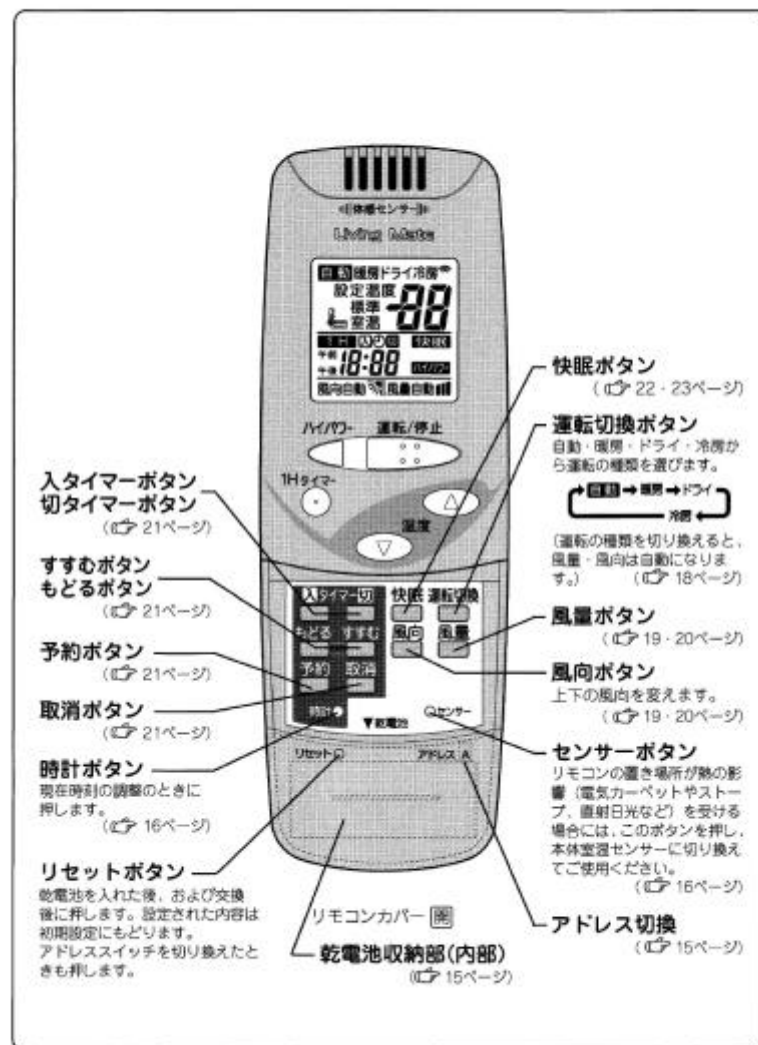
リモコンの乾電池の入れ方



- 1 カバーをはずす
- 2 単4形アルカリ乾電池を2本入れる
＋の向きを正しく！
- 3 **リセット**を先の細いもので必ず押してからカバーを取り付ける
乾電池の交換時必ず **リセット**を押してください。
- 4 現在時刻を合わせる

乾電池について

- 長期間ご使用にならない場合は、乾電池を取り出してください。
- アルカリ乾電池の交換は、1年がめやすです。乾電池の寿命が近づくとリモコンの表示がうすくなったり、受信距離が短くなります。このような場合は、乾電池を新しいものと交換してください。
- 付属の乾電池はモニター用ですので、1年に満たないうちに消耗することがあります。
- ご使用後の乾電池は指定の場所へ捨ててください。可燃ゴミと一緒に出したり、燃やしたりしないでください。
- アルカリ乾電池以外は使用しないでください。誤作動する場合があります。



手に持って操作するとき

- 送信部を受信部に向けて行ってください。
- カーテン・ふすまなど、受信部との間に信号をさえぎるものがあると動作しません。
- 操作距離は距離で約10mです。
- 電池容量が低下しますとリモコンを操作しても動作しない場合があります。
- リモコン受光部付近にインバータ方式の照明器具等がある場合、感度が大きく低下する場合があります。

壁などに取り付けるとき

取り付ける位置で運転/停止ボタンを押し、本体から受信音（ピーピー等）がすることを確認ください。

1 ホルダーをねじで止める

トラスタップピン
4×16



2 リモコンの取り付け

①ななめ上から差し込み、
②ホルダーへ押し。

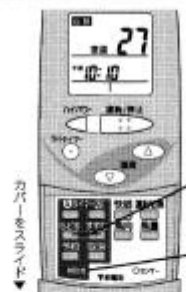
2 押し

3 リモコンの取り外し

リモコン上部を手前に引いて
取り外してください。

1 引く

現在時刻の合わせかた



〈例〉午前10時10分に合わせる場合

【時/分】を押した後は、午後○：○○が点滅しています。
（ご使用中に現在時刻を修正する場合は、【時計】を押します。
時刻表示が点滅します。）

1 もどる・すすむを押す

「午前10：10」に合わせる
時刻は1分単位で設定できます。
押し続けると10分単位で早送り
になります。

2 時計を押す

現在時刻セット完了です。

センサーボタンについて

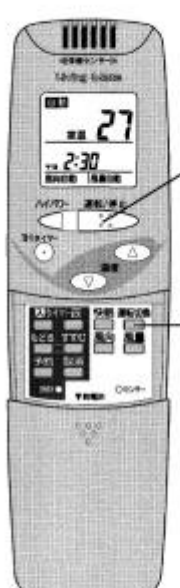
- リモコンの置き場所が熱の影響（電気カーペットやストーブ、直射日光など）を受ける場合には、【センサー】を押し、本体センサーに切り換えてご使用ください。本体センサーに切り換えると、リモコン表示部に次のようなマークが表示されます。

ご注意（リモコンの取付位置について）

- リモコンは、冷暖風や日光が直接当たる場所や、熱源（電気カーペットやストーブなど）の近くには置かないでください。また、電子調光方式またはインバータ方式の蛍光灯がある部屋では、信号を受け付けないことがあります。このような場合は、お買いあげの販売店またはお近くの家電店にご相談ください。
- リモコンは、カーテン・ふすまなど、室内ユニットの受信部との間に信号をさえぎるものがない位置に置いてください。位置が正しくないと、タイマー・室温検知などが正しく働きません。

3) 自動運転

エアコンがその部屋の状況に合った運転の種類（暖房・ドライ・冷房）を自動的に選びます。
温度・風量・風向きを自動調節して、経済的に運転します。



1 運転切替 を押し、**自動** を選ぶ
運転切替を1回押すごとに下記の順で運転の種類が変わります。

暖房 → 暖房 → ドライ → 冷房

2 運転/停止 を押し
室内ユニットから「ピーピー」と音がします。

室内ユニットの運転ランプが点灯
暖房運転………赤色
ドライ運転………黄色
冷房運転………緑色

●運転の種類がご希望に合わないときは、暖房・ドライ・冷房運転にしてください。

設定温度を変えたいとき
いずれかの【温度】を押す
室内ユニットから「ピー」と音がします。

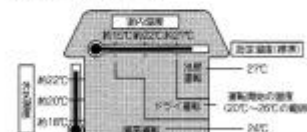
●温度の変更は1回押して目標温度にしてから、つづけて押すごとに1度ずつ変え、標準温度から±4℃の範囲で変更できます。
（なお、変更してから3秒後に室温表示にもどりませんが、変更温度は運転停止後も記憶されています。）

風量・風向を変えたいとき 【風量】 【風向】 を押し。
（1ページ18ページ）

運転を停止したいとき
もう一度 **運転/停止** を押し

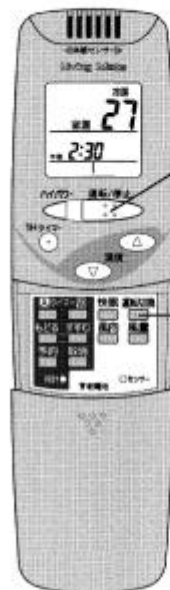
自動運転にすると…

- 室内ユニットの運転ランプの色を赤→黄→緑と2秒ごとに切り替え表示する場合があります。
- 室内ユニットの温度センサーが、暖房・ドライ・冷房を自動的に選択します。
（運転停止してから4時間以内に再運転すると、停止前と同じ運転になります。）
- 温度・風量・風向も自動的に設定されますが、風量および風向をおこのみに応じて変更することもできます。なお風量は切り換わるまでに数秒がかかります。また、暖房運転時には冷風防止機能はたります。
- 風量自動または強風に設定されている場合、運転開始に室温と設定温度の差が大きいと自動ハイパワー運転を開始します。
自動ハイパワー運転は最大30分、最大能力で運転し、室温が設定温度に近くなると通常運転にもどります。自動ハイパワー運転中の風量は強風より1段階強くなります。解除したい場合は、風量を中風または弱風に設定してください。
〔自動ハイパワー運転は解除されます。〕
- 仕様がすでに運転している場合は、他室の室内ユニットと同じ運転の種類になります。

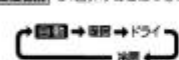


4) 暖房・ドライ・冷房運転

暖房・ドライ・冷房の運転内容に設定することができます。
一度セットすればエアコンが運転内容を記憶し、あとは「運転/停止」を押すだけでのカンタン操作です。



1 「運転切替」を押し、暖房・ドライ・冷房のいずれかを選ぶ
運転切替」を1回押すごとにつぎの順で運転の種類が変わります。



2 「運転/停止」を押す
室内ユニットから「ピーピー」と音がします。

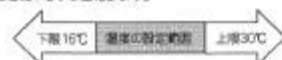
室内ユニットの運転ランプが点灯
暖房運転.....赤色
ドライ運転.....黄色
冷房運転.....緑色

設定温度を変えたいとき

いずれかの「温度」を押す
室内ユニットから「ピー」と音がします。



●温度の変更は1回押して設定温度表示にしてから、つづけて押すごとに1℃ずつ変化します。



●変更してから3秒後に室温表示になります。

風量・風向を変えたいとき 「風量」 「風向」を押す。

運転を停止したいとき
もう一度「運転/停止」を押す

暖房運転にすると...

●暖房運転開始時には冷風防止機能がはたらき、微風運転や風が出ない場合があります。

■ドライ運転について

●室温が設定温度に近づくと室内ファンが不規則な運転になります。また、室外ユニットは能力をおさえた運転を継続し、さらに室温が低下すると停止する場合があります。

●外気温度が低くなったときや寒い部屋などで使用すると、設定温度よりも室温が下がる場合があります。

ご注意

●冷房・ドライ運転時にエアフィルターや空気清浄フィルターの目づまりで霧が飛んだり、凍結防止機能がはたらく場合があります。この場合はエアフィルターを掃除し、空気清浄フィルターを交換してください。

5) 風量・風向調節

冷気・暖気のかたよりを調節できます。



風量を変えたいとき

運転中に「風量」を押す

1回押すごとにつぎの順で表示されます。



●自動は風量が自動的に切り替わります。

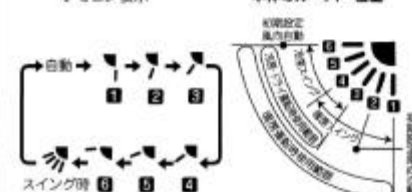
上下の風向きを変えたいとき

運転中に「風向」を押す。

室内ユニットから「ピー」と音がします。

リモコン表示

本体のルーバー位置



●リモコン表示はめやすですので、実際の角度とは異なります。

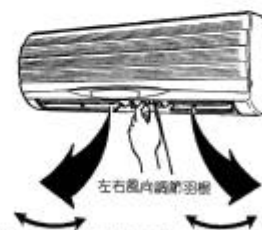
●本体のルーバー位置 1 は水平ではなく、若干下向きになります。

左右の風向きを変えたいとき

壁掛形

天井カセット形

左右風向調節羽根



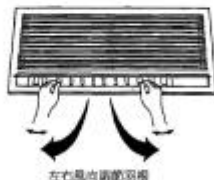
吹出口にある左右風向調節羽根を手で左右に調節します。

吹出口にある左右風向調節羽根を手で左右に調節します。

左右の風向きを変えたいとき

壁埋込形

吹出口にある左右風向調節羽根を手で左右に調節します。左右風向調節羽根は、2分間または3分間になっております。分割ごとの羽根をそれぞれ左右に調節してください。(風は2分間モデルをまわります。)



左右風向調節羽根

隠ぺい形

吹出グリルの風向調節板を手で動かして左右の風向を調節します。

(D49-D593、D49-D594の場合)



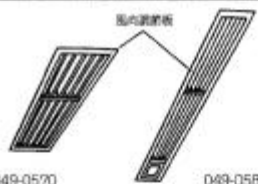
左右風向調節板

下吹き風向調節(隠ぺい形)

下吹き風向角度の調節

吹出グリルの風向調節板を手で動かして下吹き角度を調節します。

(D49-D570、D49-D582の場合)



D49-D570

D49-D582

風量・風向調節について

- 暖房運転開始時、吹出温度が高くなるまでルーバー位置は「**6**」になります。この間はリモコンで操作しても、ルーバーは動きません。吹出温度が高くなるまでリモコンの設定位置になります。
- ルーバーの位置は、暖房、冷房、ドライ運転時使用範囲でご利用ください。
- 冷房・ドライ運転時、露の付着を防止するために設定風量よりも風量が大きくなる場合があります。

ご注意

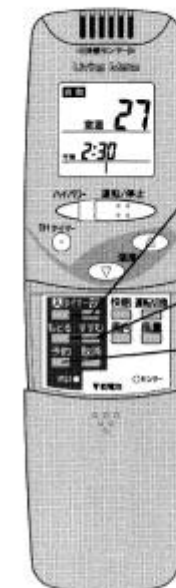
- 暖房運転開始時、冷房停止機能はたらいっているとき、またはドライ運転時、室内ファンが不規則な運転をしている場合は、風量の変更はできません。
- ルーバーは、必ずリモコンで操作してください。手で直接操作すると、ルーバーがリモコンの設定位置とずれる場合があります。正常にもどすには、リモコンで一旦停止させ、ルーバーが閉じてから再開してください。
- 冷房・ドライ運転時、つゆなど温度の高いときに左右風向調節羽根を大きく左右に動かしたり、ルーバー位置を使用範囲を超えて下向きにすると、吹出口付近に露が付着したり、滴下することがあります。ルーバー位置は正しくし、左右風向調節羽根をまっすぐの位置にしてください。



ルーバーのスイング時は、左右風向調節羽根を調節しないでください。手をはさまれるおそれがあります。

6) タイマー運転

タイマー運転をするときは、必ずリモコンの現在時刻が正しく合っていることを確認してください。



入タイマー予約

設定した時刻にご希望の温度に近づけるように、自動的に運転を始めます。

- 1 **入タイマー** を押す
「**ON**」が点滅します。



- 2 **すず** または **もどる** を押し、予約時刻を設定
時刻は10分単位で設定できます。
押し続けると早送りになります。

- 3 **予約** を押す
室内ユニットから「ピー」と音がします。
「**ON**」または「**OFF**」の点滅が点灯に変わり、現在時刻表示にもどります。
室内ユニットのタイマーランプが点灯します。

切タイマー予約

設定した時刻に自動的に運転を停止します。

- 1 **切タイマー** を押す
「**OFF**」が点滅します。



タイマー運転を取消したいとき

- 取消** ボタンを押します。
- 取り消したいほうの**入タイマー** または **切タイマー** を押し「**ON**」または「**OFF**」の点滅を復活し、**取消** を押します。

入切時刻を確認したいとき

- 入タイマー** または **切タイマー** ボタンを押します。
もう一度押すと、現在時刻にもどります。

組み合わせタイマー運転

- 入タイマー・切タイマーを組み合わせたい運転ができます。
- 組み合わせタイマー運転の場合は、設定された内容を毎日繰り返します。

(例1) 運転→停止→運転



おやすみ中に停止させ、おめがめ頃に再開したいとき便利です。

(例2) 停止→運転→停止

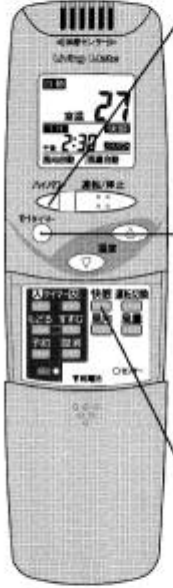


おめがめ前に運転させ、おめがめ後に運転を停止させたいとき便利です。

快速予約タイマー

- 入タイマー時間にご希望の温度に近づけるよう、セット時間の前(最大50分前)から運転し、風量は「弱」で運転します。
- お部屋の大きさや状態によって、設定時間までにおこのみの温度にならないことがあります。

7) ハイパワー運転・1Hタイマー運転・快眠運転



ハイパワー運転

夏のお買い得日やお風呂あがりに、また冬の帰宅時などにお使いください。

ハイパワー を押す
室内ユニットから“ピー”と音がします。

取り消したいとき
ハイパワー を押す

1Hタイマー運転

1時間だけ運転しますので、切り忘れの心配がありません。

1Hタイマー を押す
室内ユニットから“ピーピー”と音がします。

取り消したいとき
運転/停止 を押す
いったん運転を停止して、再度 **運転/停止** を押すと通常運転になります。

快眠運転

おやすみ中も快適な環境にしてくれる機能です。
静かな運転音で室温をコントロールします。

自動・風扇・ドライ・冷運転中に **快眠** を押す。
室内ユニットから“ピー”と音がします。

取り消したいとき
快眠 をもう一度押す

7) ハイパワー運転・1Hタイマー運転・快眠運転

ハイパワー運転について

暖房運転のとき

- ハイパワーボタンを押してから、15分間は最大能力で室内を一気に暖めます。

冷房・ドライ運転のとき

- ハイパワーボタンを押してから、15分間は最大能力で室内を一気に冷やします。
- 風量は強風よりも1段階弱くなります。(リモコンに表示はしません。)

1Hタイマー運転について

- 1Hタイマー** で運転している途中、もう一度 **1Hタイマー** を押すと、押した時点から1時間後に運転を停止します。
- 切タイマー中に **1Hタイマー** を押すと、1時間後に運転を停止し、切タイマーは取り消されます。
- 入タイマー中に **1Hタイマー** を押した場合でも設定時間後に入タイマーがはたらきます。

ご注意

- 1Hタイマー運転と切タイマーは、後押し優先になります。

快眠運転について

- 室内ユニットの風量を自動的に下げます。
- 設定温度はつぎのように変わります。暖房運転時はセット1時間後に3℃下がり、それから2時間後さらに4℃下がります。(つまり、快眠運転をセットしてから3時間後には設定温度は7℃下がります。)
- 冷房・ドライ運転時はセット1時間後に1℃上がり、その状態を継続します。

暖房運転の場合



快眠運転セット
快眠運転セット後、1時間で設定温度が3℃下がる
3℃下がった、2時間後さらに4℃下がる。(快眠運転セット後、3時間で設定温度が7℃下がる)

冷房・ドライ運転の場合



快眠運転セット
快眠運転セット後、1時間で設定温度が1℃上がる

3. 取り扱い上 のご注意

- 1) 日常のお手入れ・・・・・・・・・・・・・25
- 2) 上手な使いかた・・・・・・・・・・・・・32
- 3) 空気清浄フィルターの交換・取付・・・・・・33
- 4) 応急運転・・・・・・・・・・・・・39
- 5) 故障の原因になる取り扱い・・・・・・・・・・40
- 6) 故障かな？と思ったときは・・・・・・・・・・41
- 7) こんなときはご連絡ください・・・・・・・・・・42
- 8) アフターサービスと保証・・・・・・・・・・43
- 9) メンテナンス・・・・・・・・・・・・・44
- 10) 工事／移設・・・・・・・・・・・・・46

1) 日常のお手入れ

エアフィルターのお手入れおよび吸込グリルの水洗いについて

⚠ 注意

室内ユニットのエアフィルター清掃など、お手入れの際は必ず電源を切ってください。

・清掃中誤って回線部に触れまされたり、電源部に触れたりすると、感電やケガの原因になることがあります。



室内ユニットのエアフィルターを取りはずすときは目にはこりが入らないように注意してください。

また、踏み台に乗って行う時は、転倒しないようにしてください。



清掃のしかた

● 壁はたたくが電気掃除機で清掃してください。汚れがひどい場合は、中性洗剤をとかしたぬるま湯が水でやさしく洗い、その後洗剤をよく洗い落としてください。洗った後は乾燥させてから元どおりに取り付けてください。



注意

■ エアフィルターを直接日光に当てたり、火にあぶって乾かさないでください。変形することがあります。

・ 熱い湯(50℃以上)で洗うと変形することがあります。

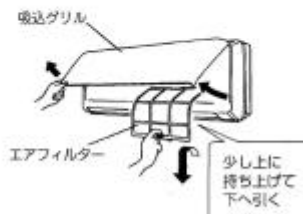


● 各室内ユニットには吸込空気のためエアフィルターがあります。図を参照して、エアフィルターを清掃してください。(25～30ページ)

<壁掛形>

エアフィルターのお掃除 (2週間に1回がめやす)

- 1 吸込グリルを開けて、エアフィルターを取り出します。
吸込グリルの両側を持って吸込グリルを手前に引き上げてから、エアフィルターをはずします。



- 2 掃除機をかけてから水洗いをします。
水洗いした後は、日陰でよく乾かしてください。

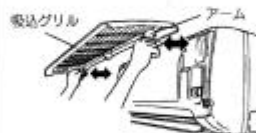


- 3 前面と表示してあるほうを手前にしてエアフィルターを取り付け、吸込グリルを閉じます。
吸込グリルの両側を持って吸込グリルを閉じてから、矢印部分(q)を押して吸込グリルを固定します。



吸込グリルの洗いかた

- 吸込グリルを全開にした状態で、両手でアームを持って手前に引くと取りはずせます。



- スポンジなど、やわらかいもので水洗いしてください。
(タワシのようなかたいものは、吸込グリルに傷がつくことがあります。)
- 吸込グリルを強く押しつけて洗わないでください。
(吸込グリルに傷がつくことがあります。)
- 汚れがひどい時は、薄めた台所用洗剤(中性洗剤)を使い、よく洗い流してください。
(中性洗剤以外は使わないでください。)
- 直射日光のあたるところで乾燥しないでください。
(変色・変形の原因となります。)

注意

- 水洗い後は、水気を十分ふきとって陰干しする。

- ・水気が残っていると、感電の原因になることがあります。

- 取り付けは、吸込グリルをほぼ水平にして、アームの軸を本体のくぼみに突き当てるまで押し込み、はめ込みます。

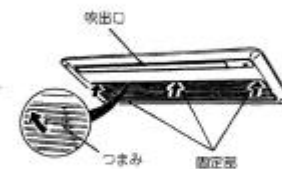
1) 日常のお手入れ

<天井カセット形>

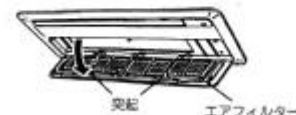
ロングライフフィルターのお掃除 (約2ヵ月に1回がめやす)

- 1 吸込グリルを開けて、エアフィルターを取り出します。
吸込グリルの固定部を3ヶ所押します。
ラッチが外れて、吸込グリルが開きます。
(「押す」のラベルが貼ってあります。)

エアフィルターの下部を押し上げ、はめ込んだ突起(2ヶ所)から外します。
吸込グリルからエアフィルターを手前に引き出します。



- 2 掃除機をかけてから水洗いをします。
水洗いした後は、日陰でよく乾かしてください。



- 3 エアフィルターを取り付け、吸込グリルを閉じます。
エアフィルターを吸込グリルにはめ込み、吸込グリルを閉じます。



<壁埋込形>

エアフィルターのお掃除 (2週間に1回がめやす)

1 吸込グリルを開けて、エアフィルターを取り出します。

- 吸込グリルを前面グリルから取りはずします。
吸込グリルは「けんどん式」になっています。
吸込グリルの両端を持ち、上にスライドして下蓋を手前に引きはずします。
- 吸込グリルを取り付けます。
取りはずしとは逆の方法で、吸込グリルを取り付けます。



ご注意

吸込グリルを取りはずし・取り付けの際、室内ユニットの本体操作部に吸込グリルが当たらないように注意してください。



2 掃除機をかけてから水洗いをします。

水洗いした後は、日陰でよく乾かしてください。



3 [前面]と表示してあるほうを手前にしてエアフィルターを取りつけ、吸込グリルを取り付ける。

1) 日常のお手入れ

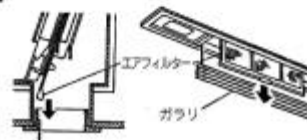
<隠ぺい形>

エアフィルターのお掃除 (2週間に1回がめやす)

1 吸込グリルの左右のレバーを引きながらガラリをはずします。ガラリが下に下がります。



2 エアフィルターを下に引いてはずします。



3 掃除します。

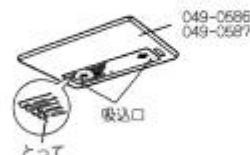


・ホコリは、掃除機で吸い取るか、水洗いをしてください。
水洗いしたときは、日陰でよく乾かします。

4 エアフィルターをもとのようにはめ込みます。ガラリの左右のレバーを引きながらガラリを取り付けます。

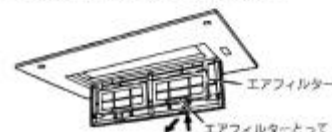
エアフィルターのお掃除 (2週間に1回がめやす)

1 吸込口のとつてを内側に押すと吸込口が下になります。

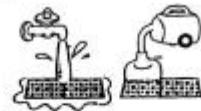


(図は049-0587の例)

2 エアフィルターのとつてを持ち上げて手前に引くと、エアフィルターがはずれます。



3 掃除します。



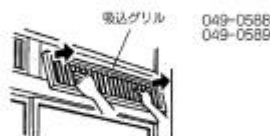
・ホコリは、掃除機で吸い取るか、水洗いをしてください。
水洗いしたときは、日陰でよく乾かします。

4 エアフィルターを吸込グリルに取り付けます。吸込口を上に向けて、とつてを外側に押して固定します。

<隠ぺい形>

エアフィルターのお掃除
(2週間に1回がめやす)

1 吸込グリルをはずします。



(図3049-0588の例)

2 エアフィルター止め具からエアフィルターを取りはずします。

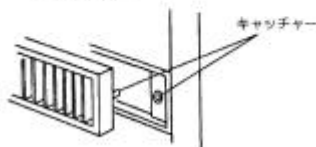


3 掃除します。



・水コリは、掃除機で吸い取るか、水洗いをしてください。
水洗いしたときは、日陰でよく乾かします。

4 エアフィルターを吸込グリルにもとのようにはめてから、取付枠と吸込グリルをキャッチャーで結合します。



1) 日常のお手入れ

お手入れ

リモコンおよび本体の清掃のしかた

- やわらかい布でから拭きしてください。
- 手あか、汗の汚れの場合は、家庭用の中性洗剤（食器用または洗たく用）を使用してください。



注意

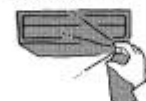
■ガソリン・ベンジン・シンナー・あがき粉などは製品をいためますので、絶対使用しないでください。



⚠ 注意

可燃性スプレー等をエアコンの近くに置いたり、エアコンに直接吹きかけないでください。

・発火の原因になることがあります。

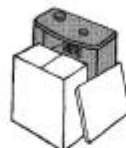


シーズン前

- エアコンを運転する前にガスの元栓を開けてください。



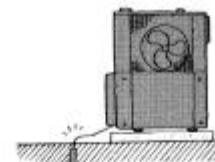
- 室内ユニット、室外ユニットの取出口や吸込口をふさいでいないかご確認ください。
- 冷暖、運轉の能力低下や故障の原因になります。



- 長時間停止から運転するときは、6時間前に必ず電源を「入」にしてください。
- 圧縮機などエアコンの動きを円滑にするため電源を入れてください。守っていただきますと圧縮機などの故障の原因になります。



- フィルターは必ず装着して運転してください。
- はずしたまま運転しますと機械が汚れ故障の原因となります。



シーズン後

- フィルターおよび各部のお手入れをしてください。



- 長時間使わないときは（シーズン後）エアコンの電源を切ってください。
- エアコンを使用しないときでもトランスや、圧縮機の保護ヒータが電力を消費しています。

- 長時間使わないときは（シーズン後）安全のためにガスの点検を閉じてください。
- 開けたままですとガス漏れの原因になることがあります。



2) 上手な使いかた

ほんのわずかな心がけで、冷房暖房効果、維持費などの点で一層効果的に使うことができます。

室内温度は適温に

- 冷房運転では、室内と室外の温度差は約5℃以内が適温です。
- 冷やしすぎは健康によくありません。ガスや電気のムダ使いにもなります。



冷房時の外気熱の影響を少なく

- 冷房時、直射日光の出る窓にはカーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしてください。
- また、出入口は必要とき以外は開けないようにしてください。



エアフィルターの清掃はこまめに

エアフィルターの目づまりは風の流れを少なくし、冷房・暖房効果を弱めます。さらに、そのまま放置しますと故障の原因になります。特に冷房・暖房シーズンの始めには清掃してください。通常は2週間に1回の清掃をお願いします。(特にほこりの多い場合はこまめに清掃してください。)



エアフィルターの清掃のしかた

- 軽くはたくか電気掃除機で清掃してください。汚れがひどい場合は、中性洗剤をとかしたぬるま湯が水でゆすぎ洗いし、その後洗剤をよく洗い流してください。
- 洗った後は乾燥させてから元どおりに取り付けてください。



注意

- エアフィルターを直射日光に当てたり火にあぶって乾かさないでください。変形することがあります。
- 熱い湯(50℃以上)で洗うと変形することがあります。エアフィルターの脱着は26～30ページを参照してください。



定期点検をお忘れなく

ガスヒートポンプエアコンにはエンジンを搭載しています。同じようにエンジンを搭載している自動車に法定点検や車検があるようにガスヒートポンプエアコンにも、その性能を維持しお客様に長く快適に使用していただくため、定期点検が必要です。お客様の責任と費用で定期点検をお受けください。

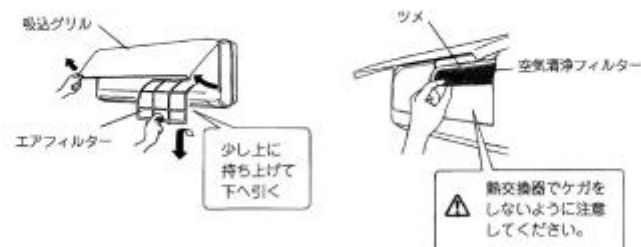
定期点検の時期は、運転時間6000時間5年毎に行います。お客様の使用時間が長い場合には、5年に2回以上の定期点検が必要となることがあります。詳細につきましては44・45ページに記載のメンテナンスの項目を参照してください。

3) 空気清浄フィルターの交換・取付

<壁掛形>

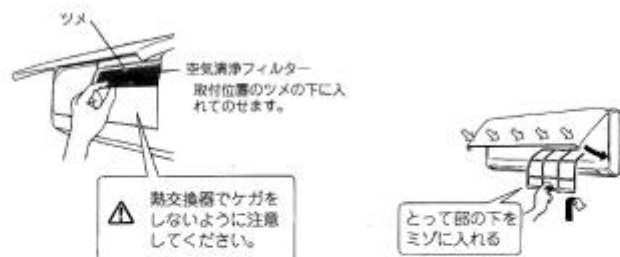
空気清浄フィルターの交換 (6ヶ月ごとがめやす)

- 1 吸込グリルを開けてエアフィルターと空気清浄フィルターを取り出します。



- 2 フィルター枠から汚れた空気清浄フィルターを取り出し、新しい空気清浄フィルターと交換します。
交換用別売部品048-0693または148-0090 (J1ンごのカテキン入り)

- 3 空気清浄フィルター・エアフィルターを取り付け、吸込グリルを閉じます。



空気清浄フィルターの交換は、約6ヶ月ごとがめやすです。汚れた空気清浄フィルターは洗っても再使用できません。お近くの販売店またはもじりの大坂ガスでご購入ください。

<天井カセット形>

空気清浄フィルターの交換（6ヶ月ごとがめやす）

- 1 吸込グリルを開けて空気清浄フィルターを取り出します。



- 2 フィルター枠から汚れた空気清浄フィルターを取り出し、新しい空気清浄フィルターと交換します。
フィルター枠は捨ててください。

交換用別売部品 145-5120～5122 : 048-0673
145-5123 : 048-0666



- 3 空気清浄フィルターを取り付け、吸込グリルを閉じます。

空気清浄フィルターの交換は、約6ヶ月ごとがめやすです。汚れた空気清浄フィルターは劣っても再使用できません。
お近くの販売店またはもよりの大阪ガスでご購入ください。

3) 空気清浄フィルターの交換・取付

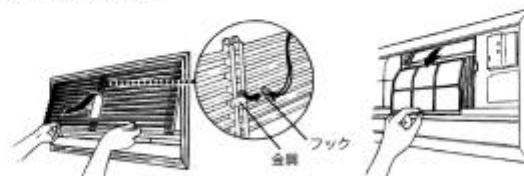
<壁埋込形>

空気清浄フィルターの取り付けおよび交換（6ヶ月ごとがめやす）

- 1 吸込グリルを前面グリルから取りはずします。

吸込グリルは「かんどん式」になっています。吸込グリルの両端を持ち上にスライドして下蓋を手前に引きはずします。

- 2 エアフィルターを取りはずします。



- 3 空気清浄フィルターを取りはずします。



- 4 空気清浄フィルターを交換する場合は、フィルター枠から汚れた空気清浄フィルターを取り出し、新しい空気清浄フィルターと交換します。

交換用別売部品 : 048-0693または148-0090（リンこのカチキン入り）(2.8、3.6kW用)
: 048-0666 (4.0kW用)



- 5 空気清浄フィルターを取り付けた後、エアフィルターを取り付け、吸込グリルを取り付けます。

空気清浄フィルターの交換は、約6ヶ月ごとがめやすです。汚れた空気清浄フィルターは劣っても再使用できません。
お近くの販売店またはもよりの大阪ガスでご購入ください。

<隔べい形> ダクト方式ラインタイプ

空気清浄フィルターの交換（6ヶ月ごとがめやす）

- 1 吸込グリルの左右のレバーを引きながらガラリをはずします。エアフィルターをはずします。ガラリが下に下がります。



- 2 矢印方向にラッチをはずして、フィルター枠を倒します。下方方向に押しながら、引き抜きます。



- 3 空気清浄フィルター枠をはずします。新しい空気清浄フィルターをセットします。空気清浄フィルターの白色度を上げて取り付けます。



- 4 空気清浄フィルターを取り付けた後、エアフィルターを取り付け、吸込グリルを取り付けます。

空気清浄フィルターの交換は、約6ヶ月ごとがめやすです。汚れた空気清浄フィルターは流しても再使用できません。お近くの販売店またはもよりの大坂ガスでご購入ください。

3) 空気清浄フィルターの交換・取付

<隔べい形> ダクト方式、下がり天井方式（下吸込み）

空気清浄フィルターの交換（6ヶ月ごとがめやす）

- 1 吸込グリルのとつてを内側に押すと吸込グリルが下に開きます。フィルター枠取付金具から、①矢印の方向に押しながら、②フィルター枠を手前に引いてはずします。



- 2 フィルター枠から汚れた空気清浄フィルターを取り出します。①凸部を持ち上げてフィルター枠を開きます。②空気清浄フィルターを取り出します。



- 3 新しい空気清浄フィルターをセットします。空気清浄フィルターの黒色面を手前にして、フィルター枠に取り付けます。



- 4 フィルター枠をフィルター枠取付金具に取り付けます。吸込グリルを開めてとつてを外側に押します。

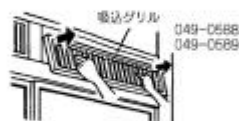


空気清浄フィルターの交換は、約6ヶ月ごとがめやすです。汚れた空気清浄フィルターは流しても再使用できません。お近くの販売店またはもよりの大坂ガスでご購入ください。

＜隠ぺい形＞ 押入れ上設置方式、下がり天井方式（正面吸込み）

空気清浄フィルターの交換（6ヶ月ごとがめやす）

1 吸込グリルをはずします。



フィルター枠をはずします。①矢印の方向に押しながら
②フィルター枠を手前に引いてはずします。



2 フィルター枠から
汚れた空気清浄フィルターを
取り出します。

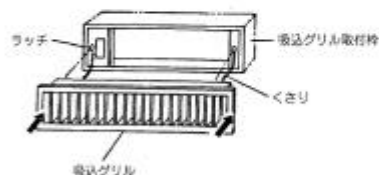


3 新しい空気清浄フィルターを
セットします。

空気清浄フィルターの黒色面を手前にして、フィルター
枠に取り付けます。



4 フィルター枠をフィルター枠取付金具
に取り付けます。左右のラッチをきか
せて、吸込グリルを吸込グリル取付枠
に差し込みます。



空気清浄フィルターの交換は、約6ヶ月ごとがめやすです。汚れた空気清浄フィルターは洗っても再使用できません。
お近くの販売店またはおもりの大館ガスでご購入ください。

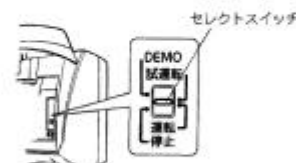
4) 応急運転

リモコンの電池がなくなったり、リモコンを紛失したときに、次の順序で応急的な運転ができます。

＜壁掛形＞

応急運転したいとき

セレクトスイッチを一度「停止」の位置にしてから、
「運転」の位置に戻してください。



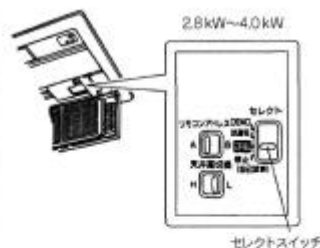
停止したいとき

セレクトスイッチを「停止」の位置にしてください。

＜天井カセット形＞

応急運転したいとき

セレクトスイッチを一度「停止」の位置にしてから、
「運転」の位置に戻してください。



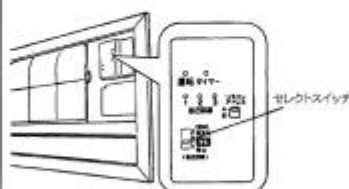
停止したいとき

セレクトスイッチを「停止」の位置にしてください。

＜壁埋込形＞

応急運転したいとき

セレクトスイッチを一度「停止」の位置にしてから、
「運転」の位置に戻してください。



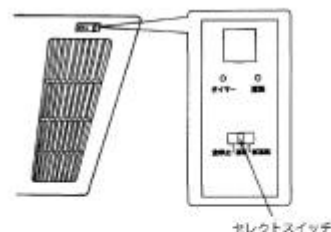
停止したいとき

セレクトスイッチを「停止」の位置にしてください。

＜隠ぺい形＞

応急運転したいとき

セレクトスイッチを一度「全停止」の位置にしてから、
「運転」の位置に戻してください。



停止したいとき

セレクトスイッチを「全停止」の位置にしてください。

応急運転にすると

●運転の種類は自動運転になります。
➡ 17ページ

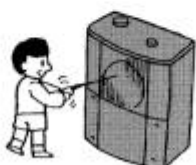
5) 故障の原因になる取り扱い

次のような取り扱いは故障の原因になります。

警告

室外ユニットの取出口や吸込口に指や棒などの異物を入れないでください。

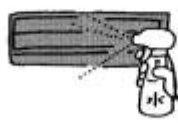
- ファンなどの回転部に触れると、ファンや棒などが損傷し、ケガや故障の原因になります。
- 特にお子さまにはご注意ください。



注意

室内ユニットには洗剤スプレーや水をかけないでください。

- 洗剤スプレーや水をかけて清掃すると故障や、電気ショートによる感電、火災の原因になることがあります。



エアフィルターをはずして運転しないでください。

- はずして運転しますと、ほこりが熱交換器やファンに付着し能力不足や故障の原因になることがあります。

電源ブレーカでエアコンをON/OFFしないでください。

- エアコン運転中に電源を切りますと故障の原因になることがあります。

扉、窓を開放したままエアコンを使用しないでください。

- エアコンの吸込部などに水滴が付いたり、凍結などを招く原因になることがあります。

室内、室外ユニットの吸込口や吹出口をふさがないでください。

- 能力が低下したり、故障の原因になることがあります。



長時間停止してから運転を再開するときは、5時間前に電源を必ず「入」にしてください。

- 守っていないと、故障の原因になります。



6) 故障かな?と思ったときは

故障かな? だいじょうぶ

「チリチリ」という金属音がする

温度変化によって金属や樹脂などの伸縮によるきしみ音です。

「シュー」という音がする

エアコン内部の冷媒ガスが流れる音です。運転中や停止時(室外ユニット運転中)に起こることがあります。運転中にチャロチャロ、ポコポコなどの場合もありますが異常ではありません。

「ビシッ」「パキッ」という音がする

エアコン内部のスイッチ作動音、あるいは温度変化によって樹脂などの伸縮するときの音です。冷・暖房運転中や停止中(室外ユニット運転中)に起こることがあります。また、運転を停止してから音が出る場合がありますが異常ではありません。

「コツコツ」という音がすることがある

電動機運転の制動時に聞こえる音で、異常ではありません。

ドレンパイプ付近から「ポコポコ」という音がすることがある

換気扇の運転を行うと室内と室外の圧力差が生じ、音がすることがあります。この場合は、給気口を開き、室内と室外の圧力差をなくすようにしてください。

運転してもすぐに温風が出てこない

機体内部が凍れば、送風が出ます。温風が出るまで、1〜2分かかる場合があります。

冷風吹出口付近に水が付く

使用条件によって、冷風吹出口のまわりに水滴が付くことがあります。ぞうきんなどでふき取ってください。

いやなにおいが出る

機体に付着したタバコの煙、化粧品、食品などのにおいが吹き出すためです。また、空気清浄フィルターが汚れていると、におうことがあります。

冷風吹出口から霧が吹き出す

室内の湿度・温度条件によって起こることがあります。

運転停止後すぐに再運転しない

室外ユニットに3分間保護タイマーが付いているため、いったん停止させると約3分間は運転を開始しません。

熱交換器が変色している

熱交換器の右側が変色していますが、これは消凍によるもので異常ではありません。

故障かな? お調べください

修理を依頼される前に、もう一度つぎの点をお調べください。

■運転しない

- 停電ではありませんか?
- ブレーカーが落ちていませんか?
- リモコンの乾電池が切れていませんか? (P.15ページ)
- 室内ユニットのセレクトスイッチが「運転」以外の位置になっていませんか? (P.9〜52ページ)
- リモコンアドレススイッチが室内ユニット側とリモコン側で合っていないですか? (P.15ページ)
- 運転またはタイマーランプが点滅していませんか? (P.42ページ)

■よく冷えない、よく暖まらない

- 室内・室外ユニットの吸込口や吹出口を障害物でふさいでいませんか?
- 設定温度が高すぎたり、低すぎたりしていませんか?
- リモコンの置き場所は適正ですか? (P.15ページ)
- リモコンに直撃、送風や冷風が当たっていませんか?
- ガス栓は全開になっていますか?
- 室温の表示が「誤」になっていませんか?
- ルーバーの位置は適正ですか? (P.19ページ)
- エアフィルターにホコリやごみがつまっていますか? (P.32〜33ページ)

●吹出口の前方に障害物はありませんか?

●ドアや窓が開いていませんか?

●在室人数が多すぎませんか? (P.48ページ)

■リモコンの表示がおかしい
信号を受け付けられない、受信音がしない

- リモコンの乾電池が切れていませんか? (P.15ページ)
- リモコンにアルカリ乾電池以外の電池を使っていますか? (P.15ページ)
- 乾電池交換のあと「リセット」を押しましたか? (P.15ページ)
- リモコン送信機が、本体受信部に正しく向けられていますか?
- 蛍光灯の種類が、電子調光方式またはインバータ方式を使っていますか? (P.16ページ)

以上、お調べになっても、なお異常のあるときや、よくわからないときは、お買い求めの販売店へご連絡ください。

8) こんなときはご連絡ください

故障表示と異常内容

室内ユニットのランプ表示と異常内容

異常内容	運転ランプ	タイマランプ	備 考
異常	点滅(0.5/0.5)		室内・室外異常とも
ドレン異常		点滅(3.0/3.0)	(※1)
他機種ドレン異常	点灯	点滅(3.0/3.0)	運転継続 (※1)
オイル異常	点灯	点滅(0.5/0.5)	運転継続
強制運転	点滅(0.5/0.5)	点滅(0.5/0.5)	(※2)
容量オーバーによる待機	点灯(赤・橙・緑)		2秒ごとに点滅(※3)
異モードによる待機	点灯(緑・橙)		2秒ごとに点滅(※4)
	点灯(赤・橙)		2秒ごとに点滅(※5)

()内はON秒数/OFF秒数を示します。

- 上記の異常に該当する場合は、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。
- (※1) 室内ドレン異常が発生した場合、ドレン異常が発生した室内ユニットは異常停止します。運転しているその他の室内ユニットは運転を継続させます。
 - (※2) 室外ユニットでの自動運転・室外からの強制運転・室内ユニットでの強制運転・マニュアル運転(モニター使用時)に表示します。
 - (※3) 故障ではありません。運転容量オーバーです。待機容量で停止(リモコンOFF)すれば、待機の順番に運転を開始します。
 - (※4) 故障ではありません。運転モードの不一致です。運転している全室内ユニットを停止するか、暖房モードを選択すれば運転を開始します。
 - (※5) 故障ではありません。運転モードの不一致です。運転している全室内ユニットを停止するか、冷房・ドライモードを選択すれば運転を開始します。

以下の事項に該当する場合は、ただちに運転を中止して、ブレーカーを切ってからお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください(ガス栓が閉まっている場合は、閉めてください)。

- 匂い・音・振動がする
- 本件に誤って異物や水を入れた
- スイッチの作動が不確実
- コードの被覆が破れている
- プレーカーやヒューズがたびたび切れる
- 室内ユニットから水が漏れる

次の場合は故障ではありません。他の室内の運転モードをご確認ください。

※異モード待機

- ①他の室内で暖房運転をしているとき、冷房・ドライ運転をしようとしたとき。
 - ②他の室内で冷房・ドライ運転をしているとき、暖房運転をしようとしたとき。
- ※室内ユニットランプが緑・橙又は赤・橙と2秒毎に点滅します。

※容量オーバー待機

- ①冷房時、室内ユニット容量が14kWを超える条件でリモコンONしたとき。
 - ②暖房時、室内ユニット容量が14kWを超える条件でリモコンONしたとき。
- ※室内ユニットランプが赤・橙・緑と2秒毎に点滅します。

※運転台数オーバーの待機

- ・冷房・暖房・ドライ時、室内ユニット台数が5台を超える条件でリモコンONしたとき。
- 例：室内ユニット 5台が運転している状態で、6台目の室内ユニットをリモコンONした場合。
※室内ユニットランプが赤・橙・緑と2秒毎に点滅します。

要 点 室内ユニットの待機について

- 運転容量を超えた場合、リモコンを押した瞬間で待機状態となります。
 - 運転している室内ユニットのいずれかがリモコンスイッチをOFFした時点で、容量以内であれば待機優先に室内ユニットを運転します。
 - 割合によっては14.0kWを超えた場合でも運転可能な場合があります。
- 室内ユニット容量合計：冷房 14.0kWまで(最大5台) 暖房 14.0kWまで(最大5台)
- 例：冷房の場合 2.8kW+3.6kW+2.8kW+3.6kW=14.0kW
例：暖房の場合 2.2kW+2.8kW+2.2kW+2.8kW+4.0kW=14.0kW

ガス臭いと感じたときは

「スイッチ、電源などを絶対に操作せずに」
ガス栓を開いて、ただちに買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

9) アフターサービスと保証

修理を依頼するとき

- お買上げの販売店にご連絡ください。
- ご連絡の際、下記の事項をハッキリお示しください。

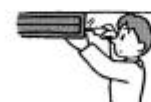
- (1) 品 名 ガスヒーパンハウジングマルチ
- (2) 形 番 (※) (N) 145-1002
- (3) 故障または異常の内容 (できるだけ詳しく)
- (4) ご住所・お名前・電話番号・加算
- (5) 訪問ご希望日



警告

エアコンをご自分で修理や改造しないでください。

- ・修理に不備があると水漏れや故障、火災の原因になります。



保証書・保証期間について

この機器には保証書がついています。当社は保証書に記載するように、機器の取扱い、設置に故障がある場合、一定期間と一定条件のもとに、無料修理に応じることをお約束します。(詳細は保証書をご覧ください) 保証書を紛失されると無料修理期間であっても修理費をいただく場合がありますので大切に保管してください。

補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は、製造打ち切り後10年です。

- 性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。

知っておいてください

雷や、無電などのノイズによりエアコンが誤作動したり、停止することがあります。

- ・このような場合はお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

室外ユニットを運転することによりテレビ画面のみだれや、ラジオにノイズが入ることがあります。

- ・このようなときはアンテナを室外ユニットより離してください。

停電後は、通常のリモコン操作をして運転を再開してください。

- ・電源が切れますと、「再起動防止回路」が働き、電源が入っても約3分間は運転しません。



10) メンテナンス

定期点検

エアコンの性能を維持し、お客様が安全により長く快適にお使いいただくために専門のサービスマンによる定期点検が必要です。

定期点検は、運転稼働時間6000時間もしくは5年毎*に行ってください。

定期的な部品交換が中心となる項目で、必ず実施していただかなければならない内容です。

運転時間毎、期間毎、従事に行いませんと、性能を維持できなかったり、運転停止の原因になります。

*お客様の使用頻度によって、運転稼働時間6000時間または5年のどちらが早く到達した段階となります。使用頻度に応じて5年に2回以上の定期点検が必要になる場合があります。

保守契約のお勧め

保守契約はガスヒートポンプエアコンの定期点検に関してあらかじめお任せいただくシステムです。保守契約を締結して契約していただくと、毎年1回専門のサービスマンがお伺いして、システムの稼働状況を確認するとともに、運転稼働時間6000時間または5年毎に必要な定期点検・部品交換を実施します。また、契約期間中の故障修理に必要な部品や技術料、出張費も無料となります。

お気軽にお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。



10) メンテナンス

定期点検項目・時期

		定期交換・補充項目	定期交換・補充時期	備 考
取組機	本 体	1 スパークプラグの交換	6000時間毎	
		2 エアエレメント1の交換	6000時間毎	
		3 エアエレメント2の交換	6000時間毎	
	潤 滑	4 エンジンオイルの交換	6000時間毎	
		5 オイルフィルタの交換	6000時間毎	
	排 気	6 ドレンフィルタの汚染の補充	6000時間毎	
圧 縮 機		7 コンプレッサベルトの交換	6000時間毎	
取組機・熱交換器		8 冷却水の交換	12000時間毎 ※1	

* 定期点検は、運転時間が指定の6000時間に満たなくとも5年毎実施します。

※1. 2回日より、6000時間毎とします。

		定期交換・調整項目	点検時期 6000時間毎	備 考
取組機	本 体	1 エンジンのかかり具合・調整・異音	○	
		2 バルブクリアランスの点検・調整 ヘッドカバーガスケットの亀裂・硬化	○	
		3 エンジンオイルの漏れ・量	○	
	燃 料	4 燃料ガスの漏れ・ホースの取付・亀裂	○	
	冷却水	5 エンジン冷却水の漏れ	○	
	排 気	6 ドレン水の排水状態	○	
冷媒・圧縮機		7 コンプレッサの振動・異音・オイルの漏れ	○	
		8 コンプレッサベルトのたわみ箇所及び亀裂	○	
		9 冷媒の漏れ	○	
熱交換器		10 室外熱交換器のフィン詰まり	○	
		11 システムの冷却水の漏れ・量	○	
電気装置		12 ハーネスの取付・亀裂・硬化・配線部への接触	○	
組 合		13 室外ユニット外観の汚れ・異音・異味振動	○	
		14 システムの能力確認	○	

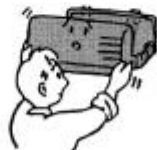
* 点検後、交換が必要と判断する部品は有償となります。

11) 工事／移設

警告

掘え付けはお客様自身で行わないでください。

- ・専門の業者に依頼してください。掘え付けに不備があると、排気ガスの建物内流入による中毒や水漏れ、燃焼、火災等の原因になります。



- ・ガス配管埋設工事には専門の資格、技術が必要です。機器の設置、移動、取外しの際には、必ずお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

増改築、引っ越しなどでエアコンを移設するときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

- ・掘え付けに不備があると排気ガスの建物内流入による中毒や水漏れ、燃焼、火災等の原因になります。



掘え付け場所について

- 次のような場所に掘え付けするのは避けてください。

- ☐ 機械室の多いところ
- ☐ 海浜地区など塩分の多いところ
- ☐ 湿気や油煙の多いところ
- ☐ 温泉地帯
- ☐ 硫化ガスのあるところ
- ☐ 高圧配管工事（高圧送電線など）のあるところ
- ☐ 薬品を扱うところ

上記のようなエアコンの周囲排気口が特殊な場所を使用しますと、故障の原因になります。詳しくはお買い求めの販売店にご相談ください。

11) 工事／移設

騒音にもご配慮ください

- 屋上や陽台に掘え付けする場合は質量に充分耐え、騒音や振動が増大しないようにしてください。
- 室外ユニットの吹き出す騒音や風が隣家の迷惑にならない場所をお選びください。
- 室外ユニットの吹き出し口近くに建物や障子のない場所をお選びください。



廃棄するときには

室外ユニット・室内ユニットを廃棄する場合は、お買い求めになった販売店にご相談ください。

廃棄時にご注意願います。

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのエアコンを廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

4. 製品編

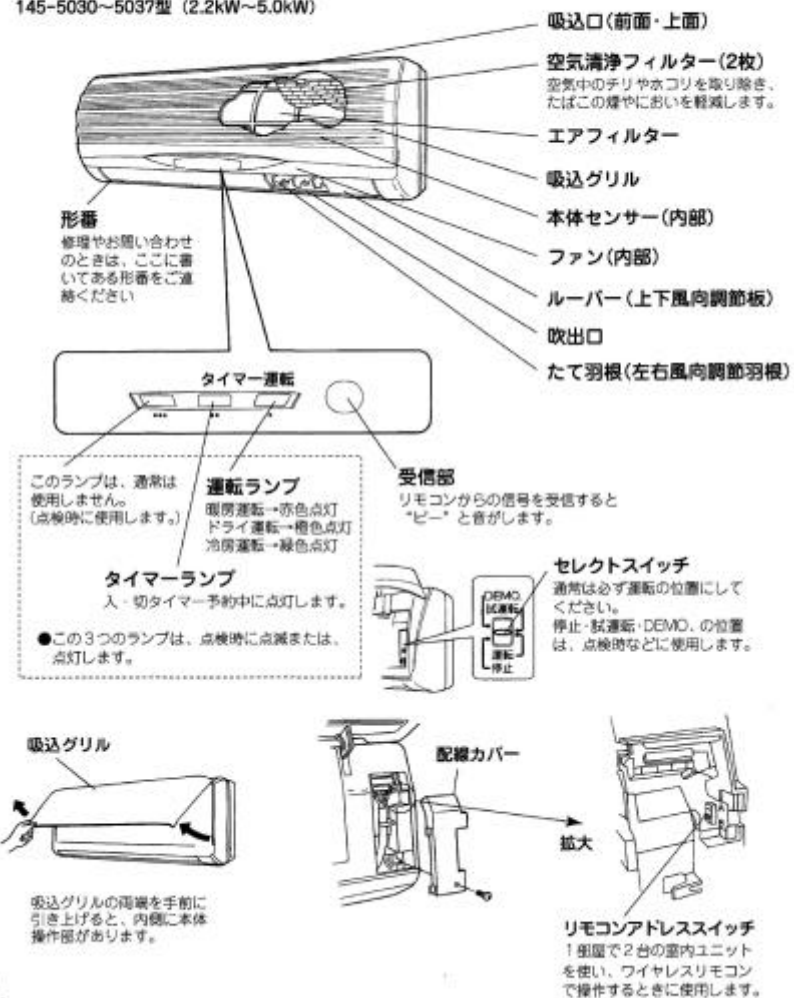
1) 室内ユニット	49
2) 室外ユニット	53

1) 室内ユニット

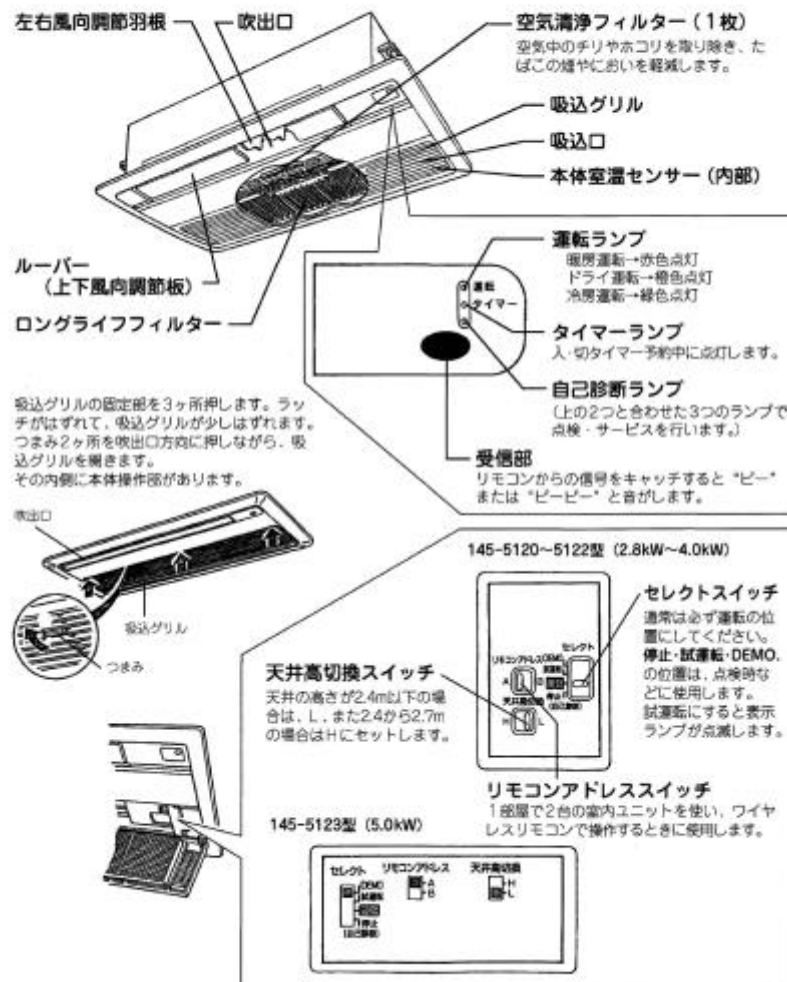
室内ユニット

壁掛形

145-5030~5037型 (2.2kW~5.0kW)

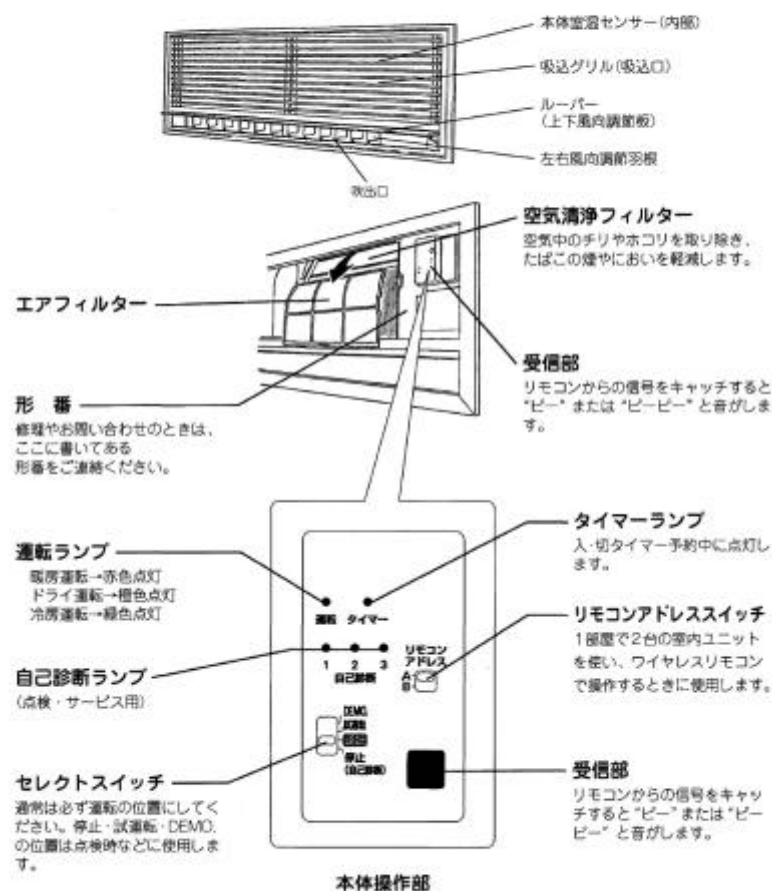


天井カセット形
145-5120～5123型 (2.8kW～5.0kW)

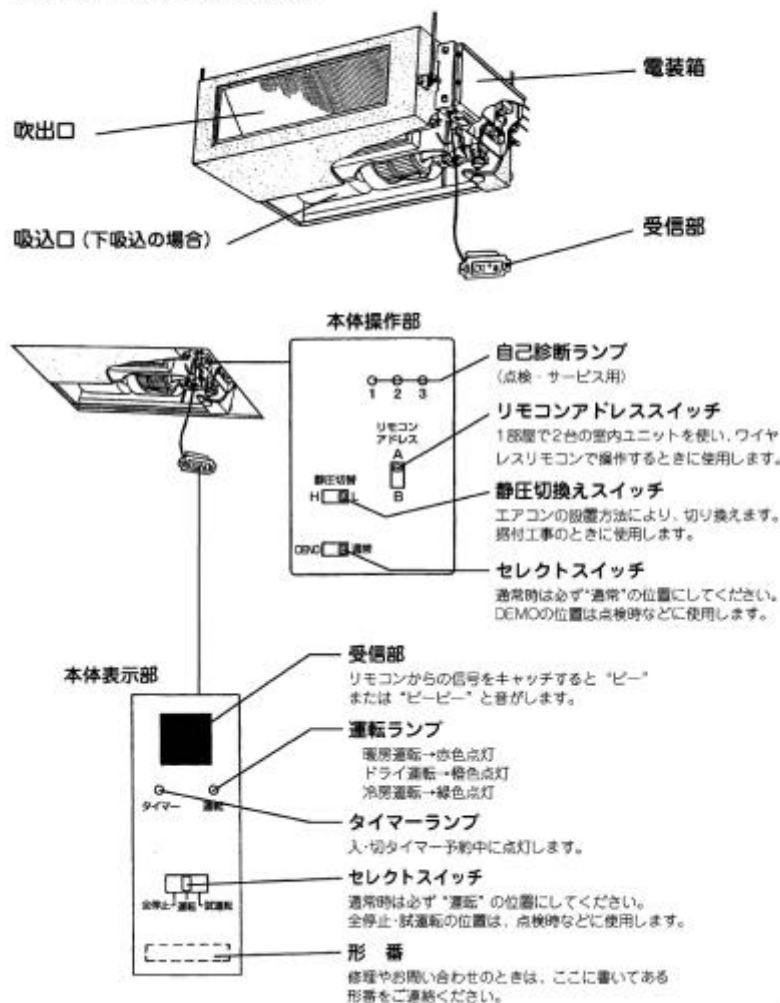


1) 室内ユニット

壁埋込形
145-5220～5222型 (2.8kW～4.0kW)

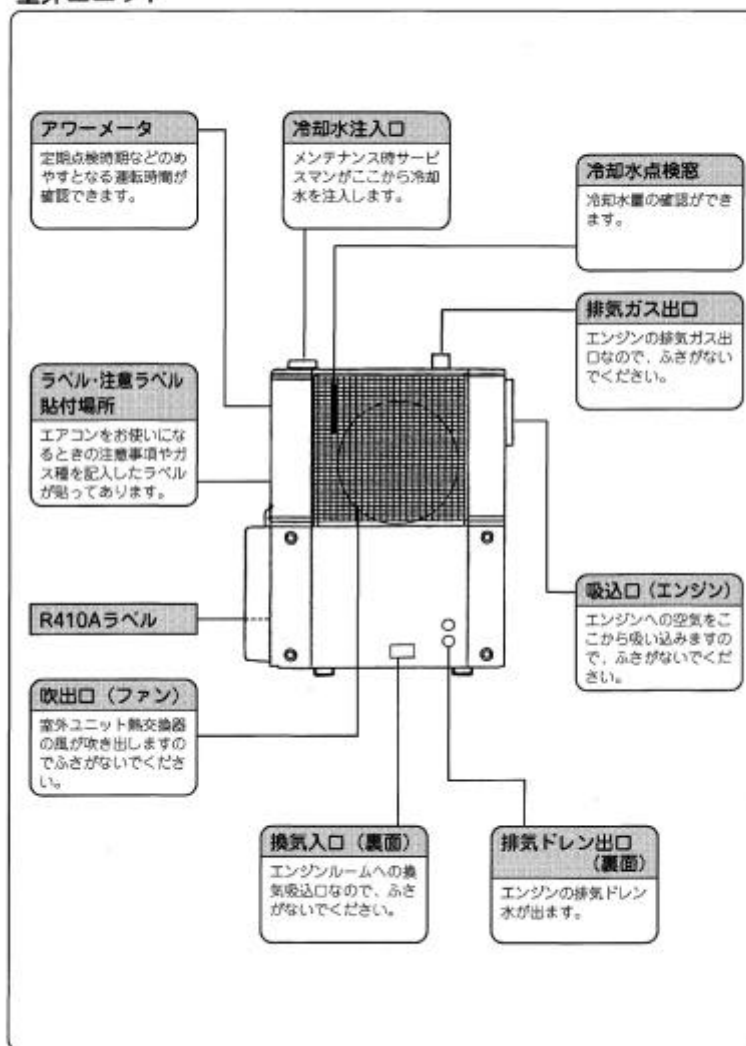


隠ぺい形
145-5310～5312型 (2.8kW～4.0kW)



2) 室外ユニット

室外ユニット



5. 仕様

- 1) 室内ユニット仕様表・・・・・・・・・・・・・・55
2) 室外ユニット仕様表・・・・・・・・・・・・・・56

1) 室内ユニット仕様表

壁掛形

型	番	145-5030 (ホワイト) 145-5031 (ベージュ)	145-5032 (ホワイト) 145-5033 (ベージュ)	145-5034 (ホワイト) 145-5035 (ベージュ)	145-5036 (ホワイト) 145-5037 (ベージュ)	145-5038 (ホワイト) 145-5039 (ベージュ)
冷 房 能 力	kW	2.2	2.8	3.6	4.0	5.0
暖 房 能 力	kW	2.8	3.6	4.5	5.0	6.3
電 源	電 源	単相 200V 50/60				
送 風 機	運 転 音 量	37 (冷) 37 (暖)	39 (冷) 39 (暖)	42 (冷) 41 (暖)	45 (冷) 44 (暖)	46 (冷) 45 (暖)
	dB	32 (冷) 31 (暖)	32 (冷) 31 (暖)	32 (冷) 33 (暖)	33 (冷) 35 (暖)	33 (冷) 35 (暖)
	風 量	9.2 (冷) 10.2 (暖)	10.0 (冷) 10.8 (暖)	11.2 (冷) 11.5 (暖)	12.5 (冷) 13.2 (暖)	14.3 (冷) 14.3 (暖)
	m ³ /min	9.2 (冷) 9.2 (暖)	8.5 (冷) 9.2 (暖)	8.5 (冷) 9.2 (暖)	8.5 (冷) 9.2 (暖)	8.5 (冷) 9.2 (暖)
外形寸法	高 さ	285				
	幅	605				
	重 量	219 (標準機 222)				
質 量	kg	9.7				

運転音はJIS規格に準じて、無音個室で測定したA特性の値です。

天井カセット形

型	番	145-5120	145-5121	145-5122	145-5123
冷 房 能 力	kW	2.8	3.6	4.0	5.0
暖 房 能 力	kW	3.6	4.5	5.0	6.3
電 源	電 源	単相 200V 50/60			
送 風 機	運 転 音 量	36 (冷) 36 (暖)	37 (冷) 38 (暖)	39 (冷) 41 (暖)	42 (冷) 43 (暖)
	dB	30 (冷) 30 (暖)	30 (冷) 30 (暖)	32 (冷) 32 (暖)	35 (冷) 36 (暖)
	風 量	9.2 (冷) 9.7 (暖)	9.7 (冷) 10.2 (暖)	10.8 (冷) 11.7 (暖)	11.7 (冷) 14.0 (暖)
	m ³ /min	7.2 (冷) 7.5 (暖)	7.5 (冷) 7.8 (暖)	7.8 (冷) 8.3 (暖)	9.3 (冷) 10.3 (暖)
外形寸法	高 さ	180 (20)			
	幅	970 (1,180)			
	重 量	390 (460)			
質 量	kg	15			

運転音はJIS規格に準じて、無音個室で測定したA特性の値です。〈 〉内はパネルの数を示します。

壁掛け形

型	番	145-5220	145-5221	145-5222
冷 房 能 力	kW	2.8	3.6	4.0
暖 房 能 力	kW	3.6	4.5	5.0
電 源	電 源	単相 200V 50/60		
送 風 機	運 転 音 量	39 (冷) 41 (暖)	41 (冷) 43 (暖)	43 (冷) 44 (暖)
	dB	33 (冷) 35 (暖)	34 (冷) 35 (暖)	33 (冷) 35 (暖)
	風 量	8.3 (冷) 9.5 (暖)	9.3 (冷) 11.0 (暖)	10.5 (冷) 11.4 (暖)
	m ³ /min	6.2 (冷) 7.3 (暖)	6.7 (冷) 7.3 (暖)	7.4 (冷) 8.1 (暖)
外形寸法	高 さ	290		
	幅	750		
	重 量	191		
質 量	kg	8.5		

運転音はJIS規格に準じて、無音個室で測定したA特性の値です。

隠ぺい形

型	番	145-5320	145-5321	145-5322
冷 房 能 力	kW	2.8	3.6	4.0
暖 房 能 力	kW	3.6	4.5	5.0
電 源	電 源	単相 200V 50/60		
送 風 機	運 転 音 量	38 (冷) 40 (暖)	39 (冷) 42 (暖)	42 (冷) 44 (暖)
	dB	31 (冷) 32 (暖)	33 (冷) 33 (暖)	34 (冷) 35 (暖)
	風 量	8.2 (冷) 8.7 (暖)	8.6 (冷) 10.2 (暖)	9.7 (冷) 10.5 (暖)
	m ³ /min	6.2 (冷) 6.3 (暖)	6.3 (冷) 6.6 (暖)	7.3 (冷) 7.8 (暖)
外形寸法	高 さ	246		
	幅	750		
	重 量	460		
質 量	kg	22		

運転音はJIS規格に準じて、無音個室で測定したA特性の値です。

2) 室外ユニット仕様表

型 番		145-1002	
冷 房 能 力	外 気 温 35℃時 kW	8.0	
	外 気 温 7℃時 kW	10.0	
暖 房 能 力	外 気 温 2℃時 kW	11.0	
	外 気 温 -5℃時 kW	11.0	
電 気 特 性 50/60Hz	電 源	AC・V	
	消費電力 kW	冷 房	0.20/0.22
		暖 房	0.20/0.22
	運転電流 A	冷 房	1.05/1.15
		暖 房	1.05/1.15
	燃 料	定格暖房 kW	8.21
暖房標準 kW		7.80	
暖房低減 kW		10.7	
エ ン ジ ン	排 気 量 L	0.363	
	定 格 出 力 kW	2.1	
冷 媒	種 類	R410A	
	充 入 量 kg	4.2	
運 転 音 量	運 転 音 dB	49 (45) 運1	
注 定 冷 媒 ト ン	RT	1.64	
外 形 寸 法	高 さ mm	1,300	
	幅 mm	1,015	
	深 度 mm	441	
質 量	重 量 kg	260	
	冷 房 室 内 (℃WB)	15 ~ 24	
		0 ~ 43	
	暖 房 室 内 (℃DB)	5 ~ 28	
		-5 ~ 21	
	暖房温度動作	室 外 (℃DB)	

上記表示能力、ガス消費量は、JIS条件で運転した場合の値を示します。

運転音はJIS規格に準じて、騒音室で測定したA特性の値です。

風向き変更板取付けにより5～10%程度能力が低下する場合があります。

注1) サイレントモード... 冷房運転時、外気温30℃以下時

大阪ガス株式会社

大阪ガスのお問い合わせ先

別添 大阪ガスのお問い合わせ先をご参照願います。